

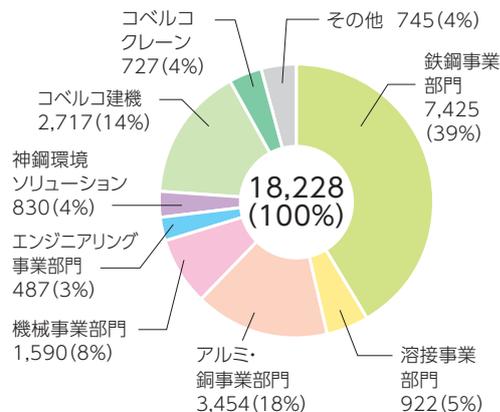
■当期の概況

当期のわが国経済は、内外需の停滞による景況感の悪化はあったものの、公共投資は減少傾向ながら高水準を維持し、企業の設備投資も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が継続しました。また、海外では、米国や欧州においては、緩やかながら景気回復が継続したものの、中国や東南アジアにおいては、景気減速が継続し、全体感としては先行きが不透明な状況が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、造船向けの需要が堅調に推移したものの、自動車向けの需要が減少したことなどから、前期並となりました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材の需要が堅調に推移したことなどから、前期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条において半導体向けの需要が減少したことなどから、前期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、景気減速の影響が大きい中国や東南アジアにおいて需要が大幅に減少したことなどから、前期を下回りました。

この結果、当期の売上高は、主原料価格の値下がり等により鋼材販売価格が下落した影響もあり、前期に比べ640億円減収の1兆8,228億円となり、営業利益は、前期に比べ510億円減益の684億円となりました。経常利益は、上記に加え、中国の建設機械事業において貸倒引当金を計上したことなどから、前期に比べ727億円減益の289億円となりました。また、主に、中国における建設機械分野の急速な事業環境悪化に伴い、投資有価証券評価損や保証債務の損失引当などについて関係会社事業損失を計上するなど、特別損益は395億円の損失となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純損益は、前期に比べ1,081億円減益の215億円の損失となりました。

事業別売上高(平成27年度) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額673億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額18,228億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

7,425 億円

(前年同期比 △6.9%)



- 鋼材販売数量：造船向け需要が堅調に推移するも、国内新車販売の前年割れなどから、前期並
- 鋼材販売価格：主原料価格の値下がりの影響や海外市況低迷などから、前期を下回る
- 鋳鍛鋼品売上高：国内造船向け需要が堅調に推移し、前期比増
- チタン製品売上高：航空機向け数量増加などから、前期比増
- 経常利益：自動車向け需要減少に伴う品種構成変化、主原料価格下落に伴う在庫評価影響の悪化、原料権益投資での評価損計上などにより、前期比251億円減益の36億円

加古川製鉄所 溶銑処理工場



溶接事業部門

922 億円

(前年同期比 △2.4%)



- 溶接材料販売数量：国内造船向け需要堅調も、建築向け需要回復遅れや中国・東南アジア・米国での需要減少により、前期比減
- 溶接システム売上高：需要が堅調に推移し、前期比増
- 経常利益：前期比21億円減益の81億円



溶接ロボット ARC MAN™-GS



アルミ・銅事業部門

3,454 億円

(前年同期比 +4.4%)



- アルミ圧延品販売数量：飲料用缶材の需要堅調、輸出を中心とした自動車向け拡販効果もあり、前期比増
- アルミ鑄造品売上高：米国での自動車向け需要堅調で、前期比増
- 銅圧延品販売数量：半導体向け需要が減少し、前期比減
- 経常利益：在庫評価影響悪化により前期並の151億円

アルミ押出材





機械事業部門

1,590 億円
(前年同期比 $\triangle 0.1\%$)



- 受注高：石油精製向け圧縮機受注減も、産業機械の石油化学向け大型樹脂機械案件受注などにより、前期並の1,404億円
- 当期末受注残高：1,338億円
- 経常利益：競争激化による採算低下などから、前期比36億円減益の67億円



汎用圧縮機「Kobelion VS」



エンジニアリング 事業部門

487 億円
(前年同期比 $\triangle 0.6\%$)



- 受注高：アルジェリアでの大型還元鉄プラント案件受注などにより、前期比100.2%増の506億円
- 当期末受注残高：768億円
- 経常利益：前期比2億円増益の10億円



MIDREX®プラント
(オマーン)



神鋼環境ソリューション

830 億円
(前年同期比 $+21.8\%$)



- 受注高：廃棄物処理関連事業での複数の大型案件受注などにより、前期比12.4%増の785億円
- 当期末受注残高：445億円
- 経常利益：前期比6億円増益の36億円



福井グリーンパワー大野発電所
(木質バイオマス発電設備)



コベルコ建機

2,717 億円
(前年同期比 $\triangle 12.6\%$)



- 油圧ショベル販売台数：前期比減
〔国内〕更新需要の一巡により減
〔海外〕中国、東南アジアの景気減速の影響大きく減
- 経常損益：前期比355億円減益の144億円の損失



50トン級建物解体専用機
[SK550DLC]

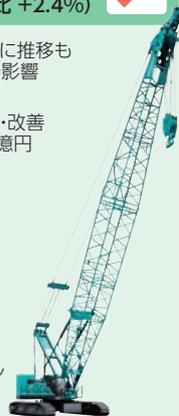


コベルコクレーン

727 億円
(前年同期比 $+2.4\%$)



- 販売台数：国内需要は堅調に推移も東南アジアでの景気減速の影響大きく、前期比減
- 経常利益：製品の品質維持・改善費用増加により、前期比27億円減益の24億円



本格基礎土木仕様のベースマシン
クローラークレーン[BM1500G]



その他

745 億円
(前年同期比 $\triangle 2.0\%$)



- 神鋼不動産：
〔賃貸事業〕堅調に推移
〔分譲事業〕引渡戸数減少
- コベルコ科研：
〔試験研究事業〕自動車関連需要堅調に推移
- その他の事業全体の経常利益：前期比2億円増益の73億円



ジークレフ加古川
野口町レジデンス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。